

土木現場を視察する森下社長
(写真中央、大豊建設提供)



晶現場代理人らが工事内容や安全対策などを説明。森下社長は豪雨時の坑内作業の危険性を指摘し定期的な避難訓練実施を要請した。東京建築支店管轄の物流施設建築現場では松元将親所長らが工事進捗などを報告。現場が利根川に近いため、森下社長は地域ハザードマップの確認などきめ細かな指導を行った。

森下社長は両現場で職員や作業員を激励するとともに「現場の基本は作業計画と作業手順書の順守。注意喚起の見える化も重要だ。必ず協力業者と確認を密に行い周知徹底してほしい」と呼び掛けた。中村中央安全衛生委員長は「これから暑い日が続き熱中症対策には万全を期してほしい」と安全管理の徹底を訴えた。

注意喚起の見える化を

大豊建設の森下社長

大豊建設の森下覚恵社長は4日、千葉県内で施工し

ているシールド・推進工事と物流施設建築工事の2現場を安全パトロールした。同社の中村百樹中央安全衛生委員長や菅浩安全環境部長らも同行し安全対策や工事の進捗（しんちよく）を確認した。

東京土木支店が管轄するシールド・推進工事の現場では佐藤隆大所長、日暮千

